

# 1月の祭典行事について

熱田 神宮 宮 庁 総 務 課 名 古 屋 市 熱 田 区 神 宮 1 - 1 - 1  
 Tel 052(671)4153 Fax 052(681)0538 URL http://www.atsutajingu.or.jp

## 新年最初のお祭り

歳旦祭(さいたんさい)

1月1日(火)  
 午前5:00  
 本宮・別宮

祭典・神事

新年初のお祭りで、庭燎(ていりょう)が御垣内を照らすなか、斎服(純白の装束)を着けた宮司以下祭員が、新しい年に際し、厳かに皇室を始め、国家・国民の平安と繁栄を祈願します。



## いにしえの手振り今もお

踏歌神事(とうかしんじ)

1月11日(金)  
 午前10:00  
 本宮

祭典・神事

春きざす大地を踏んで土地の精霊を鎮め、除厄と招福とを祈る神事で、奈良時代より朝廷で行われていた踏歌節会の余風を伝えるものです。順序は、陪従(べいじゅう)が踏歌を歌い、舞人が卯杖舞(うづえのまい)・扇舞(おうぎのまい)を務めます。次いで詩頭(じとう)の詔文(しょうもん)にあわせ、高巾子役(こうこじやく)が振鼓を振ります。

○詔文の文言や振鼓の音色から別名「あらればしり」「オベロペロ祭り」とも呼ばれています。また、振鼓の音からその年の豊凶を拝観者が夫々に占います。なお、午後1時から別宮並びに大幸田神社でも神事が行われます。



## 商売繁盛初えびす

大国主社・事代主社祭

1月5日(土)  
 午前0:00  
 上知我麻神社境内

祭典・神事

南門の西側に鎮座する、上知我麻神社・大国主社・事代主社において、商売繁昌と家内安全を祈願するお祭りを執り行います。

「あきないえびす・はたらきえびす・とりえびす・ちからえびす」など商売繁昌・家内安全の一番札や、福をとり込む「福熊手」や「福箕」を受けようと、数千人の参拝者で境内は熱気に包まれます。



## 白羽の矢に魔除けを託して

歩射神事(ほしやしんじ)

1月15日(火)  
 午後1:00  
 神楽殿前庭

祭典・神事

俗に「おまとう」とも呼ばれ、豊年と除災とを祈る神事で、裏に「鬼」と墨書された直径一間の大的めがけ、射手役の神職6名が計36本の矢を射放ちます。なお、大的(特に中央に付された千木)が魔除けのお守りになるという信仰が古くからあり、最後の矢が放たれると同時に参拝者が大的めがけて駆け出します。

○順序は、大的前で小禰宜が諸員に「クツミ」を配膳し神酒を進め、次に魔津星役が的に幣を挿し、切幣でお祓いの後、天・地・的の順に矢を放ちます。その後射手が二人ずつ初立・中立・後立の三組に分かれて順番に奉射します。



## 本年の豊凶を占う

世様神事(よだめしんじ)

1月7日(月)  
 午後2:00  
 大幸田神社

祭典・神事

ご本殿東の東宝殿床下に一年のあいだ納められていた斎甕(いみがめ)を大幸田神社に運び、中のご神水の減水量を分木と言われる定規で測り、本年の雨量の多少や旱魃(かんばつ)の有無などを占う神事です。

また、1月12日には世様神事で減水量を計った斎甕に、新しいご神水を分木で正確に計り入れた後、厳封する封水世様神事が神楽殿にて斎行されます。



## その年初めての神楽奉納

初神楽

1月1日(火)  
 午前0:00  
 神楽殿

行事

元日午前零時より、家内安全・商売繁昌・厄除けなど、様々な祈願のお神楽を御奉仕致します。特に午前零時の初神楽では、一年の家運隆昌・商売繁昌・無病息災を祈り「人長舞」と「浦安の舞」を奉奏します。

○平常の神楽・祈祷の受付時間は午前8:30~午後4:00です。



<b>大神様のお側で初詣で</b>	1月1日(火) 午前8:30～午後4:00
新春御垣内特別参拝	本宮拝殿 行事

年の初めに心静かに清々しくご参拝頂けるよう、普段入ることの出来ない御垣内で特別参拝を執り行います。受付は拝殿向かって左側です。

※第一期 1月1日～5日(8:30～16:00)  
呈茶券付

※第二期 1月6日・12日から14日(8:30～16:00)  
宝物館拝観券付



<b>豆書道家が集って</b>	1月6日(日) 午前9:10～午後4:00
第47回熱田神宮書きぞめ大会	文化殿講堂 行事

愛知県内の小中学生等約2,000名の参加を得て、書きぞめ大会が行われます。



<b>合同消防訓練</b>	1月25日(金) 午前10:00
	上知我麻神社境内 行事

文化財防火デーの前日、熱田消防署、白鳥消防団、当神宮自衛消防隊及び職員が、合同で毎年恒例となった消防訓練を実施します。



<b>新春特別展「熱田神宮名宝展」</b>	1月1日(火)～1月29日(火) 午前9:00～午後4:30
～宝物から見る歴史と信仰～	宝物館 宝物展示

1900年の歴史をもつ当神宮に、まごころを込めて奉納された6000点の宝物の中から、歴史上著名な偉人の献納品や、古来名宝として知られる誉れ高き宝物約90点を紹介します。主な展示品【国宝】短刀 銘 来国俊／正和五年十一月日、【重文】脇指 銘 長谷部国信、【重文】表着 萌黄小葵地桐竹鳳凰文二重織【重文】蓬莱蒔絵鏡箱、【重文】木造舞楽面 抜頭

○入館料 ・大人800円(500円)、大学・高校生500円(300円)、小・中学生200円(100円)。( )内は20名以上の団体料金  
・入館は午後4時10分まで



<b>文化講座</b>	1月19日(土) 午後2:00～午後4:00
宝物館新春特別展 特別講演	文化殿講堂 教養

演題：熱田の至宝 ―護り伝えられたご宝物―  
講師：熱田神宮 文化部長 野村 辰美

○聴講無料

